

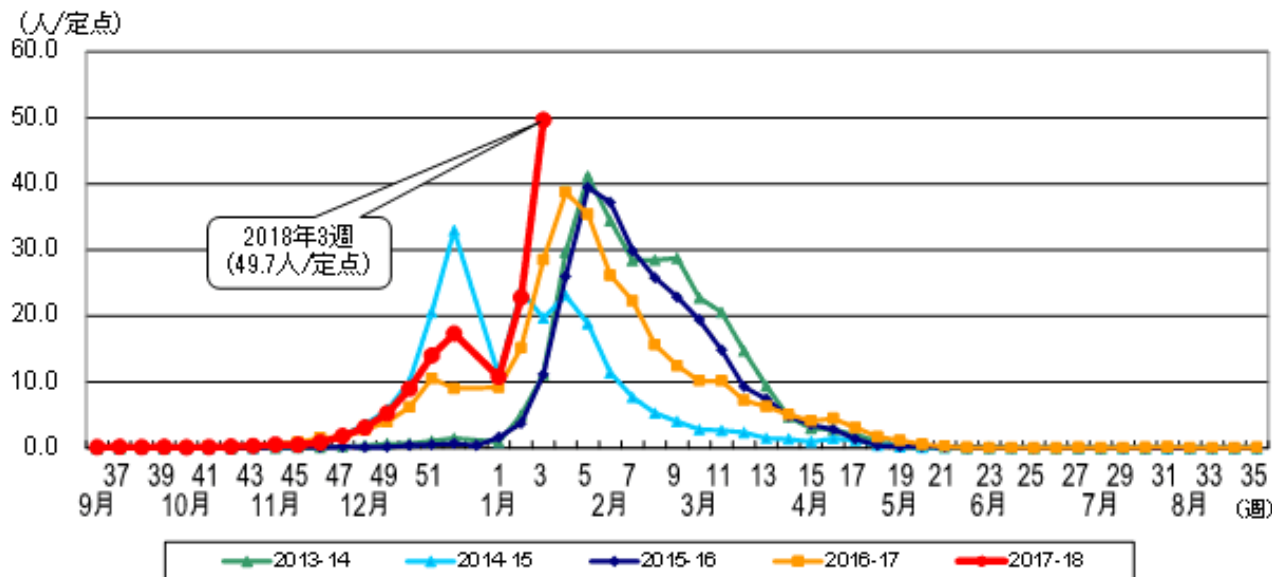
## この冬のインフルエンザ

みなさんもよくご存知のようにインフルエンザは通常の風邪と違いがあります。普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳等の症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。

一方、インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。この冬の流行は1月に下図のように東京都では急激に増加しています。ワクチン供給の遅れなど言われていますが詳細は不明です。A型が6割、B型が4割です。対策は共通で下記の通りです。

1)こまめな手洗い 2)休養・栄養・水分補給 3)咳エチケット 4)適度な室内加湿・換気を実施してください。  
感染が疑われる場合には、早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けてください。  
体調管理にも十分に気をつけてください。



都内におけるインフルエンザ患者報告数(インフルエンザ定点報告)過去5シーズン  
(東京都保健福祉局)